# 安全データシート

作成：1997年11月11日
改訂：2022年10月　5日

## 1. 製品及び会社情報

| | |
|---|---|
| 製品名会 | ：ビオロックフロアブル |
| 社名住所 | ：株式会社理研グリーン |
| | ：東京都台東区東上野四丁目8番1号　TIXTOWER UENO 8階 |
| 担当部門 | ：開発部　企画開発課 |
| 電話番号 | ：03－6802－8587 |
| FAX番号 | ：03－6802－8303 |
| 緊急連絡先 | ：同上 |
| 推奨用途及び使用上の制限 | ：農薬 |

## 2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

GHS分類

| | | |
|---|---|---|
| 健康に対する有害性 | 急性毒性（吸入：ミスト） | ：区分4 |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性　短期（急性） | ：区分3 |
| | 水生環境有害性　長期（慢性） | ：区分3 |

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語　　警告

危険有害性情報

・吸入すると有害
・水生生物に有害
・長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
・環境への放出を避けること。
・屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

【応急処置】

・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・気分が悪いときは、医師に連絡すること。

【廃棄】

・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：カルシウム=3-オキシド-5-オキソ-4-プロピオニルシクロヘキサ-3-エンカルボキシラート

／一般名：プロヘキサジオンカルシウム

成分及び含有量: プロヘキサジオンカルシウム　25.0%
＜その他＞　水　界面活性剤　等　75.0%

化学式:　$C_{10}H_{10}O_5Ca$／プロヘキサジオンカルシウム

官報公示整理番号:　安衛法　3-(4)-418　プロヘキサジオンカルシウム

CAS No.:　127277-53-6　／ プロヘキサジオンカルシウム

4. 応急措置

目に入った場合:直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。
皮膚に付着した場合:汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹸を使って洗浄する。
吸入した場合:被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。
飲み込んだ場合:被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

消火方法:初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火剤:水、強化液、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器
使ってはならない消火剤:データなし
消火活動上の注意:消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

6. 漏出時の措置

作業者に対する注意:作業の際には保護具(8. ばく露防止措置欄参照)を着用し、飛沫が皮膚に付着しないようにする。
環境影響に対する注意:流出した多量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
流出物の処理に対する注意:少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意:取り扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵、蒸気を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等をよく洗う。蒸気を発生させない。
火災・爆発の防止:通常の保管方法で問題無い。
保管上の注意:直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

8. ばく露防止措置

管理濃度:設定されていない。
許容濃度:日本産業衛生学会及びACGIHのいずれも設定されていない。
設備対策:取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。
保護具　呼吸用保護具:防毒マスク(有機ガス用・粉塵用)
保護手袋:ゴム手袋、耐溶剤用手袋
保護眼鏡:側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型
保護衣:作業着、帽子、保護服(不浸透性)

9. 物理・化学的性質

外観等　: 類白色水和性粘稠懸濁液体

| | | |
|---|---|---|
| 臭い | : | データなし |
| pH　　(原液) | : | 6.8(参考値) |
| 融点・凝固点 | : | データなし |
| 沸点・初留点及び沸騰範囲 | : | データなし |
| 引火点 | : | データなし |
| 自然発火点 | : | データなし |
| 燃焼性 | : | データなし |
| 爆発下限及び爆発限界上限界／可燃限界 | : | データなし |
| 相対ガス密度 | : | データなし |
| 蒸気圧 | : | データなし |
| 密度及び／又は相対密度 | : | 1.14(参考値) |
| 溶解度 | : | データなし |
| n-オクタノール／水分配係数(log値) | : | データなし |
| 分解温度 | : | データなし |
| 動粘性率 | : | データなし |
| 粒子特性 | : | データなし |

## 10. 安定性及び反応性

| | | |
|---|---|---|
| 化学的安定性 | : | 通常の保管環境下で安定、酸性で分解(pH6以下でカルシウム塩が解離)する。 |
| 反応性 | : | データなし |
| 危険有害反応可能性 | : | データなし |
| 避けるべき条件 | : | データなし |
| 混触危険物質 | : | データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : | データなし |

## 11. 有害性情報

| | | | |
|---|---|---|---|
| 急性毒性(経口) | : | ラット(♂ ♀) $LD_{50}$ | 5,000 mg/kg 以上 |
| | | マウス(♂ ♀) $LD_{5}$ | 5,000 mg/kg 以上 |
| 急性毒性(経皮) | : | ラット(♂ ♀) $LD_{50}$ | 2,000 mg/kg 以上 |
| 急性毒性(吸入:ミスト) | : | ラット(♂ ♀) $LD_{50}$ | 1.9 mg/L 以上 |
| 皮膚腐食性／刺激性 | : | 軽度の刺激性だがGHS分類に満たないため区分に該当しない | |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | : | 軽度の刺激性だがGHS分類に満たないため区分に該当しない | |
| 呼吸器感作性 | : | データなし | |
| 皮膚感作性 | : | 陰性　区分に該当しない | |
| 生殖細胞変異原性 | : | データなし | |
| 発がん性 | : | データなし | |
| 生殖毒性 | : | データなし | |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | : | データなし | |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | : | データなし | |
| 誤えん有害性 | : | データなし | |

## 12. 環境影響情報

| | | | |
|---|---|---|---|
| 生態毒性　魚 | : | (コイ)$LC_{50}$ | 423 mg/l (96時間) |
| 甲殻類 | : | (オオミジンコ)$EC_{50}$ | 137 mg/l (48時間) |
| 藻類 | : | $EC_{50}$ | 39.9 mg/l (72時間) |
| 残留性／分解性 | : | データなし | |
| 生体蓄積性 | : | データなし | |
| 土壌中の移動性 | : | データなし | |
| オゾン層への有害性 | : | データなし | |
| その他 | : | 植物成長調整剤であり、直接散布すると植物に影響がある。 | |

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などのなどの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。
輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輌、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

| | |
|---|---|
| 国連分類 | : 非該当 |
| 国連番号 | : 非該当 |
| 国内規制 | |
| 海上規制情報 | : 船舶安全法の規定に従う。 |
| 航空規制情報 | : 航空法の規定に従う。 |
| 陸上規制情報 | : 消防法、毒物及び劇物取締法、道路法の規定に従う。 |

15. 適用法令

| | |
|---|---|
| 農薬取締法 | : 登録番号　第19686号（理研グリーン登録） |
| 消防法 | : 非該当 |
| 労働安全衛生法 | : 非該当 |
| 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) | : 非該当 |
| 毒物劇物取締法 | : 非該当 |

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。
使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献:
1）JIS Z 7252:2019　GHSに基づく化学品の分類方法
2）GHS対応ガイドライン　ラベル及び表示・安全データシート作成指針
　2019年6月　社団法人　日本化学工業協会
3）農薬中毒の症状と治療法　第19版　2022年4月　農薬工業会
4)GHS文書　改訂第6版（2015年）